

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任

水野 喜代治

人の命より重い正義はない NO13

テレビをつけると、ウクライナの問題が取り上げられ、真剣に評論家が戦争の拡大を懸念してコメントを述べています。ロシアの軍事介入は世界を驚かし、多くの人が恐怖に落とされました。この軍事介入は世界史に残る事件となると思います。

私が、子供のころは、地域の大人はみんな、太平洋戦争の体験者でした。「輸送船に乗っていて、アメリカ軍の攻撃を受けて船が沈没したんだよ。何日も船の破片にしがみついて、海をさまよったんだよ。その時に、戦友が体力を失って、海の中に沈んでいったんだ。悲しかったよ。その時に、おかあさん！と言葉を残して、意識を失って眠るように海の中に沈んでいったんだよ。悲しかった。戦争は二度としてはいけない。」とおじさんは、よく私に話してくれました。何回も同じ話を聞かされたので、その話は今も私の心の中に刻まれています。あの戦争は、ヨーロッパの支配に苦しんでいるアジア諸国を日本が開放して「大東亜共栄圏」をきずくための戦いと国民に伝えられました。いわゆる正義の戦いであることが強調されました。アメリカ・イギリスの勢力をアジアから追い出すための戦争と宣伝されました。その戦争で310万人の日本人が命を落としました。

1965年にアメリカ合衆国はベトナムを爆撃しました。ベトナムが、社会主義国となり中国や旧ソビエト陣営になることを阻止するための戦いと言われました。ベトナム南部にいる反社会主義勢力の人たちを守るという正義の戦争でした。国際的な戦争反対の声を抑えて、アメリカは1975年までの約10年の間、ベトナムを攻撃し続けました。この戦争で約5万8000人のアメリカ兵の命が奪われ、負傷者は約75万人にを数えました。

2022年2月にロシアがウクライナに軍事介入をしました。ロシア政府は、ウクライナ政府が東部に生活している親ロシア系住民（スラブ人）の弾圧に対する解放と、クリミア半島の確保するための正義の戦争と主張しています。

今日も、ニュースで多くの人の命が奪われている事実が伝えられるでしょう。そのたびに、近所のおじさんの言葉を思い出します。「大東亜戦争は、悲しい戦争だった。二度と戦争をしてはいけない。」…おじさんが目に涙を浮かべて私に話してくれたことを。